

がいこく
外国につながる子どものための
こうこうしんがく
高校進学ハンドブック

ねんどばん
〈2024年度版〉



このハンドブックは、神奈川県教育委員会とNPO法人多文化
共生教育ネットワークかながわ（ME-net）が発行する
かながわの「公立高校入学のためのガイドブック」の内容を参考
に作成しました。

外国につながる子どもや保護者が、早い時期から高校進学を考
えられるよう、やさしい日本語で作成してあります。

ねん がつ
2024年9月

ふじさわしきょういくいんかい
藤沢市教育委員会

きょういくしどうか
教育指導課

日本の学校教育について

日本の義務教育は、小学校6年間、中学校3年間の9年間です。子どもの歳で学年が決まります。

義務教育では、住んでいる場所によって通う学校が決まりますが、中学校卒業後は、自分で進路を決めていくことになります。

このハンドブックでは、進路の一つとして、高校に行くことについて説明していきます。



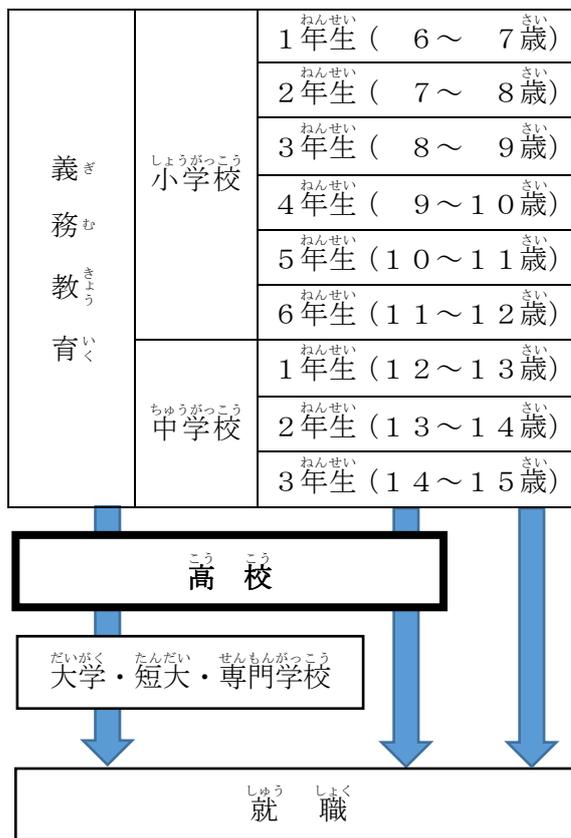
高校といってもいろんな種類がある！！

高校は、主に公立高校と、私立高校があります。

公立高校	<ul style="list-style-type: none"> 県や市がつくっている学校。 学校に入るためのテストがあります。
私立高校	<ul style="list-style-type: none"> 民間がつくっている学校。 高校ごとに学校に入るためのテストがちがいます。 公立高校よりも、お金がかかります。

いろいろな学習のスタイルがあります。

全日制	AM8：40ごろ～PM3：30ごろまで毎日授業を受けます。卒業まで3年間です。
定時制	特定の時間帯（午前・午後・夜間）で授業を受けます。卒業まで4年間です。（3年で卒業できる学校もあります。）働きながら通うこともできます。
通信制	教科書などを使って自分の家で学習し、レポートを提出し、試験に合格すると単位がもらえます。決められた単位をとると、卒業できます。月に2～3回は学校に行き、面接指導（スクーリング）を受けます。



Q: どんなスケジュール?



A: 受検 (受験) までのスケジュールは下の通りです。

2年生	2年生の成績から、受検 (受験) にかかわってきます。
3年生 7月	中学校で進路面談
夏休み ~ 12月	各高校で説明会が開かれます。 ※そのとき、申し込みが必要な学校があります。 自分の行きたい学校の様子を見に行くことができます。
9~10月	「日本語を母語としない人たちのための高校進学ガイダンス」 ・希望した生徒、保護者が無料で参加できます。(通訳あり)
11月	中学校で進路面談
12月	中学校の最後の進路面談でどの高校を受検 (受験) するかを決めます。
1月	受検 (受験) 料を払い、受検する学校へ入学願書を出します。
2月	私立高校の受験 公立学校 (全日制か定時制か通信制) の受検 (1校のみ) *合格発表後すぐに入学金を払わなければいけない私立高校があります。
3月	公立高校 (定時制・通信制) の受検

(だいたいのスケジュールです。くわしいことは、学校で確認しましょう。)



公立高校に入るための受検 (受験) に大切なのはこの3つ!

公立高校は「**受検**」、私立高校は「**受験**」といいます。

調査書	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活の様子を中学校の先生が書いたもの。 中学校2年生と3年生の全教科の5段階評定の合計。 <p>※第2次選考では、3年生の「主体的に学習に取り組む態度」の評価を選考資料として使います。</p>
学力検査	<p>【全日制】英語、国語、数学、理科、社会の5教科</p> <p>※3ページの(1)(2)の特別な受け方は英語、国語、数学の3教科</p> <p>【定時制】英語、国語、数学の3教科</p> <p>※公立高校と私立高校では、学力検査の教科の数がちがいます。</p>
(特色検査)	<p>実技検査・自己表現検査・面接を行う場合があります。</p>

Q：外国につながるのある生徒の受検に、特別な受け方がある？



A：公立高校には3つの受け方があります。

(1) 在県外国人等特別募集

- 日本ですらしてきた期間が、受検する年の2月1日現在で、あわせて6年以内で、外国籍をもっている人、または日本国籍をとって6年以内の人が受けられます。
 - 小学校入学前に日本にいた期間は、カウントしません。
 - 重国籍の人（外国籍と日本国籍の2つをもっている人）も対象です。
 - 受けられる学校が決まっています。
- 「学力検査（英語・国語・数学の3教科）」があります。（テスト問題は一般募集と同じ）
- テスト問題の漢字は、ふりがなが付きます。
- 日本語での面接があります。（学校でがんばったことや入学したい理由・高校でがんばりたいことなどを聞かれます）
- 受けられる学校は、全日制15校、定時制4校です。

藤沢総合高校（藤沢市）、大和南高校（大和市）、高浜高校（平塚市）、座間総合高校（座間市）など。

(2) 海外帰国生徒特別募集

- 保護者の仕事などで続けて2年間以上外国に住み、帰国したのが中学1年生の時の4月1日より後（4月1日も入る）の人が受けられます。
 - 「学力検査（英語・国語・数学の3教科）」があります。他に、面接と作文があります。
 - テスト問題の漢字にふりがなは付いていません。（テスト問題は一般募集と同じ）
-
- 受けられる学校は、全日制8校です。鶴嶺高校（茅ヶ崎市）など。

(3) ほかの生徒と同じテストを特別な方法で受検

- 日本に来て6年以内（受検する年の2月1日現在）の人が対象。
- 【申請できる特別な受検方法】
 - ①テスト問題の漢字には、ふりがなが付きます。
 - ②テストの時間が、50分から75分の1.5倍になります。
 - ③面接のとき、ゆっくり、わかりやすい日本語で話してもらえます。
- 神奈川県内のどの公立高校でも、申請することができます。

じゅけん ひつよう
Q：受検に必要なものは？



じゅけん ほうほう ひつよう ちが
A：受検の方法によって必要なものが違います。

ぜんいん ひつよう
◎全員が必要なもの

- ① メールアドレス (申し込みをする時に使います)
- ② 受検料 (テストを受けるお金)
 - ・【全日制】2200円 【定時制】950円 (横浜市は650円) 【通信制】無料
 - (※私立高校は学校によって払うお金がちがいます。20,000円くらいです。)
 - ・お金は基本的にはオンライン決済となります。(受検する窓口で現金を払うこともできます。)
- ③ 調査書など (中学校から出してもらいます。)
- ④ 学校によっては、このほかに出すものがあります。(面接シートなど)

とくべつ じゅけん ばあい ひつよう しょるい
◎特別な受検をする場合に必要な書類

ざいけんがいこくじんとうとくべつぼしゅう
在県外国人等特別募集

うえ ぜんいん ひつよう
上の「全員が必要なもの」①～④のほかに

- ⑤ 外国籍をもっている、または、日本国籍をとって6年以内であることが分かる書類
- ⑥ 日本でくらしてきた期間が、あわせて6年以内であることが分かる書類 (パスポートなど)

かいがいきこくせいととくべつぼしゅう
海外帰国生徒特別募集

うえ ぜんいん ひつよう
上の「全員が必要なもの」①～④のほかに

- ⑦ 保護者の仕事などで続けて2年間以上外国に住んでいたことを証明する書類
- ⑧ 帰国が中学1年生の時の4月1日より後 (4月1日も入る) であることが分かる書類

※ ⑦・⑧の例：会社の証明書または保護者と本人のパスポートなど

Q：高校こうこうに行くために必要なお金ひつようかねのことを教えてください。



A：テストを受けるため、学校がっこうに入るため、授業じゅぎょうを受けるためのお金かねが必要です。

(学校がっこうによってそれぞれの金額きんがくがちがいます。)

ほかにも、制服せいふくや教科書きょうかしょ、修学旅行しゅうがくりょこうなどにもお金かねがかかります。



免除制度めんじょせいど（無料むりょうにする制度せいど）があります。

○公立高校こうりつこうこうの受検料じゅけんりょう・入学料にゅうがくりょうの免除制度めんじょせいど

経済的けいざいてきな理由りゆうで、受検料じゅけんりょう（テストを受けるためのお金かね）や、入学料にゅうがくりょう（学校がっこうに入るためのお金かね）の支払いしはらが難しい人むずかひとには、全部ぜんぶまたは一部いちぶを免除する制度めんじょせいどがあります。

※11月中がつちゅうじゅんいこう旬もう以降こに申し込みひつようが必要です。

くわしいことは、希望きぼうする高校こうこうの事務じむの人ひとや、中学校ちゅうがっこうの先生せんせいに相談そうだんしてください。

とあさき
問い合わせ先

ふじさわしきょういくいいんかい
藤沢市教育委員会

きょういくしどうか
教育指導課

0466-50-3559